

## みやぎ民話の会の歩み

- ◆ **1975年** みやぎ民話の会を結成  
代表 小野和子(当時)・日本児童文学者協会会員・日本民話の会会員)
- ◆ **1977年** 会報発行(後に「民話」と改名)・現在までに30号を数える)
- ◆ **1982年** 日本児童文学者協会編「ふるさと  
の民話」シリーズのうちの『宮城県の民話』(偕  
成社・1982年刊)を担当  
(現地編集責任者・小野和子)
- ◆ **1985年4月～1988年3月**の3カ年、宮  
城県教育委員会の委託を受け、小野和子を責任  
者として、宮城県内の民話伝承調査に従事。そ  
の結果を、宮城県文化財調査報告書第130集  
『宮城県の民話』(B5版490ページ)として  
まとめる(1988年3月発行)。
- ◆ **1985年**から、会員が採訪してきた記録を  
「みやぎ民話の会資料集」として、その都度記  
録する。(現在までN.O.516冊を作成する)
- ◆ **1988年** 日本民話の会発行『民話の手帳』  
誌(N.O.38号1988年刊)『特集 宮城県の民  
話』の編集を担当  
(編集責任者 小野和子)
- ◆ **1991年** 採訪によって聞き取った民話  
の活字化を図り、多くの人々に、この先祖の遺  
産を手渡したいという願いから、「みやぎ民  
話の会叢書」という民話集を発刊。現在  
まで、14集(16冊)を数える。
- ◆ **1994年** 日本民話の会共催「日本民話  
の学校」(於栗駒憩いの家)を開催
- ◆ **1996年** みやぎ民話の会主催「第1回みや  
ぎ民話の学校」を開催。以来、隔年で開催し、  
広く一般に呼びかけ、伝承の語り手を囲んで、  
その語りや暮らしの話などを聴く場を設定した。
- ◆ **2003年1月** みやぎ民話の会の代表を  
山田裕子、顧問を小野和子とする。
- ◆ **2011.3.11**の震災に際し、仮設住宅な  
どで民話を語り、被災者の心になぐさめをも  
たらすことを願って奉仕する。
- ◆ **2011年8月21～22日** 「第7回みやぎ民  
話の学校」於南三陸町ホテル観洋(当時まだ  
避難所だった)で開催。宮城県内で被災され  
た民話の語り手6名を招いて、その体験を語っ  
ていただく。全国から200余名の参加者が  
集まる。(「みやぎ民話の会叢書」13集参照)
- ◆ **2011～2012年** 第1回「みやぎ民話  
の学校」から参加くださった3名の伝承  
の語り手の語りを映像で残すべく、映画監督  
濱口竜介、酒井耕の両氏(せんだいメディア  
テークの「3がつ11にちをわすれないために  
センター」に所属)による口承記録映画「う  
たうひと」の制作に参加。2011年秋から  
撮影を始め、2012年12月20日に、せん  
だいメディアテークシアターで初の試写会を  
開催する。
- ◆ **2012年7月** せんだいメディアテークと  
の協働で「民話 声の図書室」を開設すべく、  
これまでに集めた民話の収録テープ(約100  
0本)の整理や、宮城県を中心とする民話の語  
り手の映像記録・DVDシリーズの発行を行う。
- ◆ **2013年** せんだいメディアテークとの協  
同で「民話 ゆうわ座」を開催。誰もが知って  
いる日本の民話を題材に、「みやぎ民話の会」が  
約45年にわたって記録してきた、民話語りの映  
像や音声を見たり聞いたする対話の場として、  
毎年1回、せんだいメディアテークを会場に行っ  
てきた。(2019年12月までに計7回開催)
- ◆ **2014年8月29～31日** 「第8回みやぎ民話の  
学校」(於丸森町「あぶくま荘」)開催
- ◆ **2019年1月** みやぎ民話の会代表 島津  
信子、顧問小野和子とする。
- ◆ **2020年**現在、メディアテークとの協働で、  
「民話声の図書室」DVDシリーズを計30タイ  
トル、CDシリーズを計6タイトル発行(制作:  
みやぎ民話の会「民話 声の図書室」プロジェク  
トチーム・せんだいメディアテーク)。ラウンジ  
展示「2011.3.11 大津波に襲われた沿岸  
集落で、かつて聞いた『いいつつたえ、むかしは  
なし、はなし』」を計8回開催。